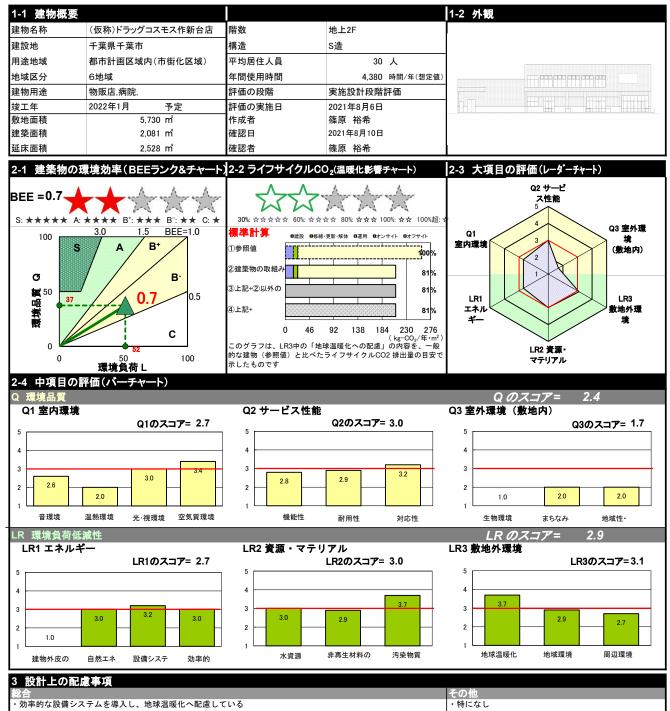
(/ S | B | E | - 建築(新築) ▮評価結果



- Q3 室外環境(敷地内) ・天井高を確保し、広さ感に配慮している ・耐用年数の長い給排水管を利用 ・必要に応じた空調設備計画がなされており、安定した 環境を保っている LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 ・発泡剤を用いた断熱材を採用せず、フロン・ハロンの回 ・高効率設備機器を採用し、設備システムの高効率化に ・ガス設備を採用しない等、大気汚染防止に努めている 避に努めている
- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- G: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷底滅性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される